

## 現状と課題

- 求人数の増加など高校卒業生の就職環境は改善傾向
  - ・H27年度公立高等学校卒業生の就職決定率：98.7%
- インターンシップ等の参加生徒数も増加
  - ・一日看護師体験等も含めると、公立高校全てで実施
- 「地域と連携した工業系技術力向上対策事業（H25～H27）」は一定の成果
  - ・工業系高校卒業生の就職決定率は、100%を維持
  - ・企業ニーズの高いフリス技能等の習得には課題もある
- 卒業後3年以内の離職率は約4割とミスマッチは課題

## 施策の方向性

- 就職支援強化には、ハローワーク等との連携が不可欠
- 学校と企業関係者との結び付きを深めることも重要
  - ・各校の企業訪問を積極的に推進
- 工業系事業は、企業ニーズに即した改善も必要
  - ・長期企業実習 ・フリス技能等の習得
- キャリア教育の一層の充実も必要
  - ・各校のインターンシップの推進への支援は必要不可欠
  - ・観光産業との連携、商品開発等の特色ある取組の推進
  - ・ワークライフバランスも踏まえた進路設計も重要

## 就職支援への取り組み

### ハローワーク等との連携

#### ○ハローワーク事業の活用

- ・ジョブサポーターによる個別支援
- ・学校への出張相談
- ・合同就職面接会への参加

#### ○労政雇用課事業の活用

- ・仕事探し応援！
- ・合同就職面接会参加促進

### 就職担当者の指導向上

#### ○山梨県高等学校就職指導担当者会議の開催 (H28～30)

- ・労働局からの情報提供
- ・就職指導上の課題共有
- ・業界団体代表者との情報交換促進
- ・就職状況の確認と支援

※学校の企業訪問も促進

### 新規工業系事業の展開

#### ○工業系高校生実践的技術力向上事業

- ・企業実習（短期＋長期）
- ・企業技術者の実践的指導
- ・産業技術短期大学校等との連携
- ・教員の技術力向上研修・企業研修

☆H28年度：  
企業ニーズの高いフリス技能習得のため、フリス盤12台を導入

### キャリア教育の充実

#### ○ワークキャリア体験事業

- ・職業観や勤労観育成を目的とした体験活動等  
例)「企業見学」  
「地域に根ざした商品開発」  
「大学との連携講座」
- ・インターンシップ推進連絡協議会の開催

#### ○ライフプランニングカ育成事業

- ・ライフプラン講座を実施

山梨労働局  
産業労働部  
(労政雇用課 等)

関係機関・団体  
との連携を強化

業界団体・各企業



【目指す姿】 高校生が県内企業を理解した上で明確な目標を持った進路希望を確立  
⇒ 目標を実現し、山梨の産業界の充実・発展に寄与する人材を育成